

子育てトピック

子育て中のママ・パパに「今のリアル」な声を聞きました！

ママ友や話相手がなくてストレスがたまってしまう。

感染症対策が万全な場所ではないと出かけづらい。

子どもも親もとにかく気分転換がしたい。

予約制育児相談会



▲予約制育児相談会の様子。交流、相談、気分転換が気軽に行えるとの声が多数！

そんな悩みはここで解決！

開催案内はこちら▼



さらに、オンラインでも相談OKに！

オンライン離乳食グループ相談会

燕市保健センターでは、現在オンラインでの離乳食グループ相談会を実施中。3回食に進むポイントやこの時期おすすめのレシピなど、楽しく離乳食について学ぶことができる相談会です。参加者からは、「赤ちゃんを連れての外出に不安が残るなか、オンラインで直接顔をみながら話ができ、安心してました」との声が聞かれました。



開催案内はこちら▼



子育て支援 特集

どんぐり、飛んでいけ！

～つばめは子育て全力サポートのまち～

日曜日の公園。親子3人楽しそうに「どんぐり」を拾う井上さんご家族。もうすぐ3歳になる陽喜くんは最近、木の実拾いにハマっているそうです。「どんぐり」は小さな実から大樹へ育つことから、古くからヨーロッパでは「豊かさ」や「繁栄」の象徴とされてきました。

今はまだ小さな「どんぐり」である子どもたち。大きく豊かにスクスク育ち、将来は、燕市を背負う立派な大樹に育ってほしい！

そんな思いを込めた今の特集「どんぐり、飛んでいけ！」。燕市での子育てについて、あれやこれやとご紹介します。

イマ、子育てには何が必要？

愛する我が子との希望に満ちた生活。その一方で、育児に追われ、家事をしたくても目が離せず、おまけに夜泣きで寝不足の日々、そんな経験も多いはず。祖父母が近くにいれば助けてくれますが、友人・知人がいない場合も少なくありません。また、感染症の影響で外出ひとつするのにも一苦労。そんな時だからこそ、子育てには家族だけではなく、地域全体の協力が必要不可欠となっています。

「子」も「親」もスコやかに！

燕市には子育て世代を支える多くの制度や施設があります。現在、子育て中だという人はもちろん、出産を控えた家族、それ以外の人も燕市の子育ての今について知っておきましょう。制度や施設の現状を把握し、困った時に寄り添い合える環境があれば、子育ての負担はグッと軽くなるはず。

誰もが安心して、健やかに子育てができる環境を目指し、地域ぐるみで子育て世代を支えていきましょう。

